

希少野生生物保護・保全対策報告書

-青森県の希少野生生物の生息状況と保護・保全活動の事例-

2007年3月

青森県

はじめに

青森県は、三方を海に囲まれ、世界自然遺産『白神山地』やラムサール条約登録湿地『仏沼』、奥入瀬溪流や十和田湖に代表される十和田・八幡平国立公園など豊かで多様性に富んだ自然環境が残されています。

森・川・海など、自然環境と我々とは物質循環を繰り返し、生物相互が共生の文化を形成しています。かけがいのない本県の豊かな自然環境は県民共通の財産であり、現代に生きる我々にはこれを後世に引継ぐ義務があります。

自然環境や野生生物は一度破壊されたり、個体数が減少すると回復するには相当の年月が必要となります。本書には、過去、本県で行った生息地の破壊や野生生物の絶滅、逆に、現在県内で行われている保護・保全活動など、本県の自然環境に関する様々な事柄が掲載されています。

本書の作成により、より多くの県民の皆様にご利用いただき、本県の自然環境の保護・保全につながることを期待しております。

おわりに、本書の執筆にあられた専門家の方々には厚くお礼申し上げます。

2007年3月

青森県自然保護課長 矢田 茂

青森県レッドリストに掲載されている希少野生生物の生息・生育状況



『縫道石山の特殊な生態系について』

オオウラヒダイワタケ (A)



『日本におけるヤチヒロヒダタケの再発見
とその学術的意義』

ヤチヒロヒダタケ (A)



『分布拡大が目立つカンムリカイツブリ』

カンムリカイツブリ (B)



『オオルリシジミの絶滅について』

オオルリシジミ（EX）



『オオルリシジミの絶滅について』

生息地の草原はリンゴ園に変貌（岩木山麓・1969）

県内各地で行われている保護・保全活動



『青森県におけるコウモリ類の保全』

蝙蝠（コウモリ）小舎
（七戸町天間館神社）



オオセッカ (B)

『三沢市仏沼の現況について』



ブラックバスの駆除作業
又八沼 (青森市)

『シナイモツゴの保護活動』

野生生物の個体数減少の要因及び対策事項



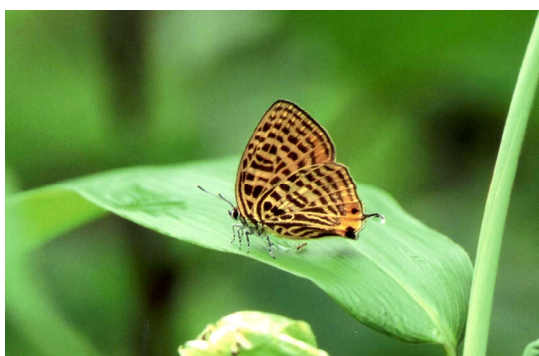
ロードキルの事例
(ニホンヒキガエル)

『青森県のロードキルの現状』



オオセスジイトトンボ（Ｃ）
写真は（オス）

『減少傾向にある希少野生生物
（本県に生息するトンボ類３種を例として）』



ウラナミアカシジミ（Ｃ）

『里山のチョウ類の衰退と対応策』



移築保存されているかやぶき家屋
（鯨ヶ沢町長平）

『行き場を失うかやぶき屋根の八子たち』

- 目 次 -

はじめに

写真

1 . 総 論	1
2 . 青森県レッドリストに掲載されている希少野生生物の生息・生育状況	
ハナヒョウタンボクの絶滅について	6
ムラサキセンブリ（発見された絶滅生物）	8
縫道石山の特殊な生態系について	9
日本におけるヤチヒロヒダタケの再発見とその学術的意義	10
青森県におけるニホンザルの現況	13
ニホンアシカの絶滅の経緯	17
分布拡大が目立つカンムリカイツブリ	20
枯木に棲むハチたち	21
オオルリシジミの絶滅について	24
ゲンジボタルの生態と保全	29
ニホンザリガニのたどった道	31
3 . 県内各地で行われている保護・保全活動	
青森県におけるコウモリ類の保全	33
三沢市仏沼の現況について	46
シナイモツゴの保護活動	49
ビオトープとその役割	51
4 . 野生生物の個体数減少の要因及び対策事項	
青森県におけるロードキルの現状	53
減少傾向にある希少野生生物（本県に生息するトンボ類3種を例として）	56
里山のチョウ類の衰退と対応策	59
行き場を失うかやぶき屋根のハチたち	63
土壌昆虫の生態と保全	66
水生昆虫の生態と保全	67
地表性昆虫の生態と保全	68
付録：青森県レッドリスト（2006年 改訂増補版）選定種一覧	70